

作成日(改訂日) : 2017年8月31日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ガッテン乳剤
 会社名 : OATアグリオ株式会社
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8階
 担当部署 : 品質保証室
 電話 : 088(684)0220
 FAX : 088(686)7055
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)
 整理番号(SDS No.) : OAT0250-7
 使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 区分外

急性毒性(吸入・ミスト) 区分外

皮膚腐食性・刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2A

皮膚感作性 区分 1B

生殖毒性 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分 2(神経系、肺、肝臓、骨髄)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分 2

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	H317
	強い眼刺激	H319
	眠気またはめまいのおそれ	H336
	生殖能または胎児への悪影響のおそれ	H360
	長年にわたる、または反復暴露による神経系、肺、肝臓、骨髄の障害のおそれ	H373
	水生生物に毒性	H401

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。(P201)
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
 取扱い後手および眼をよく洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
 必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)
 保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

- 皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
- 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)
- 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。(P308+P313)
- 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。(P314)
- 特別な処置が必要である。(この SDS の 4. 応急措置を参照)(P321)
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当を受けること。(P333+P313)
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。(P337+P313)
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

【保管】

- 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
- 施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

- 内容物/容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること)。(P501)

3. 組成、成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 化学名(又は一般名) : フルチアニル乳剤(殺菌剤)

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
(Z)-2-[2-フルオロ-5-(トリフルオロメチル)フェニルチオ]-2-[3-(2-メトキシフェニル)-1,3-チアゾリジン-2-イリデン]アセトニトリル (一般名:フルチアニル)	5	958647-10-4	無し	8-(7)-1627
有機溶剤、界面活性剤等 N-メチル-2-ピロリドン	残量 40	- 872-50-4	- (5)-113	- 8-(1)-1014 (8-(1)-1013)
メタノール	<0.3	67-56-1	(2)-201	(2)-201

4. 応急措置

吸入した場合

- 身体に異常を感じた場合には速やかに医師の診断を受ける。
- 被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸困難を訴える場合には酸素を吸入させる。
- また、呼吸が停止している場合には直ちに人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

- 直ちに汚染された衣服や靴等を脱ぎ、付着または接触部を流水と石鹼を用いて十分に洗浄する。
- 刺激等の異常が認められる場合には医師の診断を受ける。
- 汚染された衣類を再使用場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

- 速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行い、眼科医の診断を受ける。
- 眼をこすってはならない。
- 洗眼は瞼を指で開いて行う。

飲み込んだ場合

- 直ちに水で口腔内を洗浄する。
- 被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。
- 速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

- 多量の噴霧水、粉末、炭酸ガス、泡沫、砂

火災時の特定危険有害性

- 加熱分解すると、一酸化炭素等の有害ガスを発生するおそれがある。
- 加熱により容器が爆発するおそれがある。

特定の消火方法

火災が発生した場合には、到着した消防署員や警察官に本品があることを知らせる。
 放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。
 周辺火災の場合、速やかに安全な場所に移す。
 周辺火災の場合には、何ら危険を伴わなければ速やかに安全な場所に移動させる。
 移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。

消火を行う者の保護

必ず自給式呼吸器と適切な保護服を着用して風上より消火を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用して、風上で作業する。
 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

環境に対する注意事項

周辺の池や川に流入しないように注意する。

除去方法

速やかに着火原を取り除くとともに、漏洩区域を関係者以外立ち入り禁止にする。
 可能であれば直ちに漏洩源を止める。
 大量の場合には盛土で囲って漏洩規模の拡大を防ぎ、砂やおがくず等に吸着させ、密閉可能な容器に回収する。
 少量の場合には布等で拭き取る。
 屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

火気注意。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
 暴露防止の為に必ず適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。
 作業後には直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。
 作業着は再使用前に洗濯する。
 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
 本品の用途以外に使用しない。

保管

消防法で規定されている容器を使用する。
 酸化剤から離して保管する。
 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
 屋内で使用する場合には、作業場の換気を行う。

管理濃度、許容濃度

化学名又は一般名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (産衛学会)	ACGIH
フルチアニル	-	-	-
N-メチル-2-ピロリドン	-	1ppm (4 mg/m ³)(皮)	-
メタノール	-	200 ppm (260 mg/m ³)(皮)	TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin)

保護具

呼吸器用の保護具 : 防護マスク
 手の保護具 : 不浸透性手袋
 眼の保護具 : 保護ゴーグル
 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣及びゴム長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 澄明液体
 色 : 黄色
 臭い : 僅かな特異臭

pH	: 4.6(20%溶液)
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲	
沸点	: データなし
融点/凝固点	: データなし
分解温度	: データなし
引火点	: 102°C
発火点	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重/密度	: 1.08(20°C)
溶解性	
水に対する溶解性	: -
オクタノール/水分配係数 (log Pow)	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件では安定。

避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

避けるべき材料

強酸化剤

危険有害な分解生成物

知見なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口	LD ₅₀ 値	: >2000 mg/kg(♀ラット)
経皮	LD ₅₀ 値	: >2000 mg/kg(♂♀ラット)
吸入	LC ₅₀ 値	: >5.84 mg/L(♂♀ラット)

皮膚腐食性・刺激性

軽度の刺激性あり(ウサギ)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

中程度の刺激性あり(ウサギ)

感作性

皮膚感作性 : 陽性(Buehler 法)

生殖毒性

区分 1B に分類される N-メチル-2-ピロリドンをカットオフ値以上含有するため区分 1B とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分 3(麻酔作用)に分類される N-メチル-2-ピロリドンをカットオフ値以上含有するため区分 3 とした。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

区分 2(神経系、肺、肝臓、骨髄)に分類される N-メチル-2-ピロリドンをカットオフ値以上含有するため区分 2 とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

LC ₅₀ (96 時間)	: 5.5 mg/L(コイ)
EC ₅₀ (48 時間)	: 1.1 mg/L(オオミジンコ)
ErC ₅₀ (72 時間)	: 4.9 mg/L(<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>)

13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。

木粉(おがくず)等に吸収させて、スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。

大量に廃棄する場合には、製造業者に連絡する。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 非該当

クラス : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

本品の輸送は適用される法令に従って行う。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないよう積み込む。

容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。

容器は乱暴に取り扱わない。

15. 適用法令

農薬取締法

第 23208 号

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号) メタノール
 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9):588 の 2 N-メチル-2-ピロリドン
 名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9):560 メタノール、588 の 2 N-メチル-2-ピロリドン

化学物質管理促進法(PRTR)

非該当

消防法

危険物 第 4 類 第三石油類(非水溶性)

化審法

優先評価化学物質(法第 2 条第 5 項):N-メチル-2-ピロリドン、メタノール

労働基準法

疾病化学物質(法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1):メチルアルコール

16. その他の情報

参考

OAT アグリオ株式会社保有データ

MSDSnavi (日本ケミカルデータベース株式会社、2017)

連絡先

製品に関する問い合わせ先:コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先:公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料:1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されるようお願いいたします。

社内承認欄

--	--	--	--	--	--